

## その他の国際関係の活動

### (1) 2018APEC ビジネス倫理フォーラム（東京）

平成30年7月18日から20日、東京で開催された2018アジア太平洋経済協力機構（APEC）ビジネス倫理フォーラムに、横倉義武会長、道永麻里常任理事が出席した。当フォーラムでは、バイオ医薬品および医療機器分野における倫理的ビジネス慣行を強化することを目的とし、業界団体および企業、医療専門家団体、患者グループ、政府当局およびその他利害関係者の上級リーダーが参加している。

20日には、日本難病・疾病団体協議会、全国がん患者団体連合会、日本看護協会、日本製薬団体連合会、日本医療機器産業連合会、日本薬剤師会、厚生労働省とともに、「日本における倫理的連携のためのコンセンサス・フレームワーク」に合意した。本コンセンサス・フレームワークは、「患者さんを最優先とする」、「倫理的な研究と技術の革新を支持する」、「中立性と倫理的な行動を保証する」、「透明性の確保と説明責任を推進する」という4つの包括的な原則で構成されている。これらにより、質の高い治療を患者に提供するための協力関係を持続可能なものとすることを目指している。

### (2) 第5回メキシコ日系人医療セミナー（メキシコ）

平成30年8月10日、11日の両日、横倉義武会長は、メキシコシティで開催された第5回メキシコ日系人医療セミナーに、メキシコ日系人医師会のホセ・ルイス・アカキ会長の招待を受け出席した。横倉会長は、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進－日本の経験から－」と題した講演を行った他、JMATの活動や、子どもの肥満対策、糖尿病対策等について説明を行った。

セミナーに引き続き行われた日本国大使館主催の式典では、横倉会長に対してメキシコ日系人医師会、メキシコ日本医療財団の名誉会員の証が授与された他、アカキ会長他2名の日系人医師が、長年のメキシコにおける医師活動の功績を称えられ、日本の外務大臣表彰を受けた。

### (3) 世界健康大会（中国）

平成30年10月19日から20日に杭州（中国）で開催された2018世界健康大会に、横倉義武会長が中国医師会より招待を受け、出席した。第2回目となる本大会は、人類の健康と将来の発展をテーマとし、持続可能な人間開発および社会開発における健康の価値に焦点を当て、グローバル・ヘルスケアのコンセプトを確立することを目的として開催された。横倉会長は、19日のレセプションで日本医師会長、世界医師会前会長として海外参加者を代表して挨拶を行い、本大会主催者である中国医師会ケクイン・ラオ副会長にお礼を述べると共に、高齢社会における医療制度の持続性確保に向けた日本の健康寿命の延伸の取り組みを紹介した。

20日には北京に移動し、中日友好病院の招待による「中日・医学交流フォーラム」に出席した。当フォーラムは、中日友好病院開院34周年、中日平和友好条約締結40周年記念として開催されたも

のである。横倉会長は、「日本の医療と医師会、中国との医療・医学連携」と題した講演を行った。

#### (4) ワールド・アライアンス・フォーラム in サンフランシスコ（アメリカ）

平成 30 年 11 月 15 日、16 日にかけて、2018 ワールド・アライアンス・フォーラム in サンフランシスコが、ヘルシー・エイジングの科学、政策、ビジネスをテーマに開催された。主催者である原文二アライアンス・フォーラム財団代表理事から横倉会長への招待を受け、今村聡副会長が代理出席した。今村副会長は、横倉会長の挨拶を代読し、高齢社会への対応として、健康寿命の延伸によって、高齢者が社会を支える側となるような健康長寿社会を作り上げ、かつ継続的に支えていく日医の取り組みやかかりつけ医を中心とした医療ビッグデータの利活用などに言及した。

#### (5) 第 11 回母子手帳国際会議（タイ）

平成 30 年 12 月 13 日、14 日にバンコク（タイ）で開催された第 11 回母子手帳国際会議に、主催者である国際母子手帳委員会中村安秀委員長より、横倉義武会長が日本医師会長、世界医師会（WMA）前会長として招待され、道永麻里常任理事とともに出席した。本会議は、秋篠宮文仁親王妃紀子殿下のご臨席のもと、「持続可能な開発目標（SDGs）を目指す人生最初の 1000 日間の奇跡：家庭にある道具としての母子手帳」をテーマとして開催された。

横倉会長が開会式で挨拶を行った他、「母子健康手帳のための UHC」のセッションで、道永常任理事が「WMA による母子健康手帳の普及と促進」と題して講演を行った。本会議の成果物として、「バンコク宣言」が採択された。

#### (6) 第 12 回人間を中心とした医療に関するジュネーブ会議（スイス）

平成 31 年 3 月 25 日から 27 日にかけて、「Well-being の促進と燃え尽き症候群の克服」をテーマとし、第 12 回人間を中心とした医療に関するジュネーブ会議がジュネーブ（スイス）で開催された。人間を中心とした医療に関する国際カレッジ代表であるジョン・スネーデル世界医師会（WMA）元会長（アイスランド医師会）より、横倉義武会長が WMA 前会長としての出席及び日本医師会の参加要請を受け、星北斗参与が出席した。星参与は、「日本における医師のバーンアウト」と題し、日本の実情について講演を行った。

#### (7) その他

海外より日本の医療情報を収集するために来館した場合などには、役員が対応し資料等の提供を行っている。また、国際課では海外からの医療・医学関係の問い合わせに対しては資料を送付するなど適宜回答している。